

# ふらべじ

Flower & Vegetable

Vol.13 2000  
8.20

ひまわりの号

発行 北海道立 花・野菜技術センター



南米アンデス高原原産で ヒマワリやキクイモに近縁のキク科多年生草本です。主に地下の塊根を食用としますが、近年それに含まれる機能性成分が注目を浴びています。見た目はサツマイモですが、生で食べるとサクサクとした歯ざわりとほんのりとした甘みがあり、薄味の梨といった感じです。塊根の固形分のほとんどがフラクトオリゴ糖と食物繊維であり、優れた整腸作用をもつ低カロリーのダイエット食です。また、抗酸化作用をもつポリフェノールも多く含まれています。

ヤーコンは天然の力で生活習慣病を予防してくれる頼もしい野菜です。無農薬栽培が可能な健康野菜ヤーコンを作って、そして食べてみませんか？

## ヤーコン

*Samallanthus sonchifolius*

# ごあいさつ

## 場長 前田 要



北海道立花・野菜技術センターは、研修施設を併設した北海道における園芸関係専門の試験場として平成8年に設立され、今年で5年目を迎えております。

私自身にとって、この節目の年に新しい視点に立って仕事に従事する機会を与えられ大変嬉しく思っております。

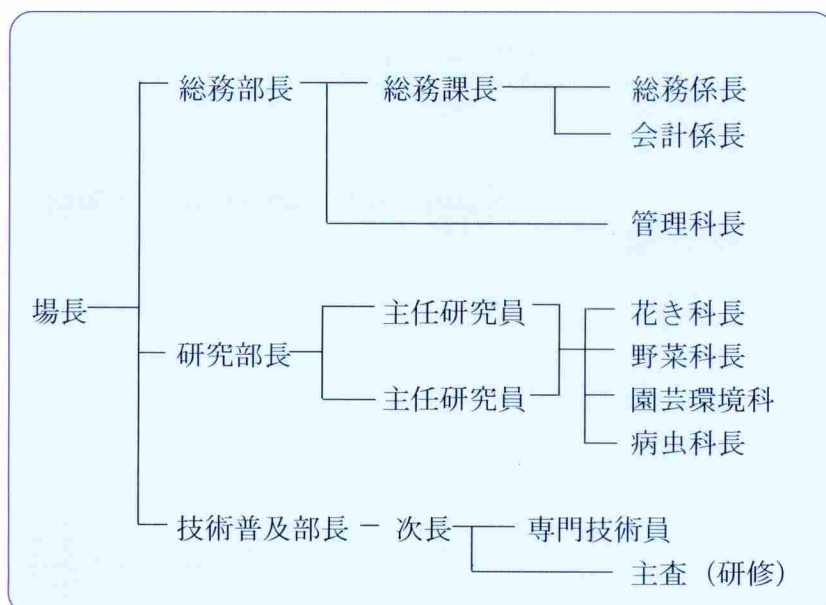
21世紀に向けて、日本農業の歩むべき基本方針（新農業基本法）が策定されました。北海道農業も、前途が厳しいといわれる中で日本の食糧基地としての重責を担いながら、環境保全に配慮し、持続的生産可能なクリーン農業技術をベースにした農業生産目標を掲げ着実に前進しております。

水田依存農業からの脱皮が強まる中、北海道においては花・野菜を中心とした園芸作物導入による農家経済の安定化の期待が今後一層高まってきています。

当センターも、本年度から組織体制を強化し、地域に密着した試験研究と成果の普及・定着化を促進することとしており、生産者や地域から信頼される試験場となるよう努めてまいりたいと考えておりますので今後ともよろしく願いいたします。

### 花・野菜技術センターの組織体制

平成12年4月から新しい体制での業務がスタートしました



### 新しい体制の特徴

- ・ 技術普及部が新設され、技術の開発と普及に向け専門技術員、技術体系化チームと研修が一体となって活動することになりました
- ・ 花き第一科と第二科、野菜第一科と第二科とが統合され、それぞれ花き科と野菜科とになりました
- ・ 土壌肥料科が園芸環境科にかわり、流通貯蔵関係が強化されました
- ・ 病虫科が強化され、より効果的な現場対応が可能となりました

## 平成12年度のおもな試験課題

### 花き科

- ・花ユリの新品種育成
- ・デルフィニウムの新品種育成
- ・主要花きの品種特性調査
- ・球根花きのコンテナ栽培
- ・新しい道産花きの開発普及促進

### 野菜科

- ・メロン、食用ゆりの新品種育成
- ・主要野菜の適応性検定、品種特性調査
- ・省力適性かぼちゃ品種の栽培法
- ・ブロッコリーの夏期安定生産技術
- ・グリーンアスパラガスの多収栽培法

### 園芸環境科

- ・グリーンアスパラガスの多収栽培法
- ・葉茎菜類の障害軽減・高品質栽培
- ・花き類の緩効性肥料利用による効率的施肥
- ・夏どりだいこんの雪氷冷水予冷技術
- ・栄養診断ならびに突発性生理障害診断

### 病虫科

- ・メロンのえそ斑点病の総合防除対策
- ・だいこんの土壌病害対策の確立
- ・ミカンキイロアザミウマの総合防除対策
- ・ゴボウ黒条病の防除対策
- ・スターチスの灰色かび病被害の軽減対策

### 技術普及部

本道農業の花・野菜部門を取り巻く内外の情勢の変化に的確に対応するため、次の三つの機能があります。

- ・専門技術員活動:花・野菜に関する農業改良普及センターが行う普及活動の支援
- ・技術体系化チーム:専門技術員・研究員などで構成する各課題別体系化チームと普及センターとの連携による地域のニーズに根ざした技術の普及定着、研究開発
- ・研修:新たな技術や品種の普及定着や農業者および技術指導者の養成のための技術研修の実施

## ガンバシ！ 新農業人 インタビュー～

今回の若き農業者は、名寄市の水間典子さん。全く農業とは無縁だった生活から一転、農業を始めるきっかけは何だったのでしょ

うか。

○まず自己紹介をお願いします。

名寄市で、夫、両親、祖母の5人家族で、もち米、小豆、小麦、はくさいを栽培しています。

今、花き栽培について花・野菜技術センターに研修に来ています。

○なぜ農業を始めようと思った？

元々自然が好きで、農業にも興味があったのですが、たまたま結婚した相手が農家だったんです。

○農業の魅力は？

いろいろ自分なりの創造を広げられるところ。思ったことを実現しようと思えるところです。

○将来の経営について

花きの栽培について、単に売れるものを作るのではなくて、もっとこだわりをもって栽培していきたいです。その前に農業というものを広く知りたいです。

○最後に一言

これから明るい希望を持って農業をやっていこうと思っています。皆さんよろしくお願いします。



花・野菜技術センター/植物遺伝資源センター

# 公開デー 2000

8月29日 (火曜日)

おもな催し物のご案内(午前10時～午後3時)

花と野菜の展示  
植物遺伝資源の展示  
野菜の試食コーナー

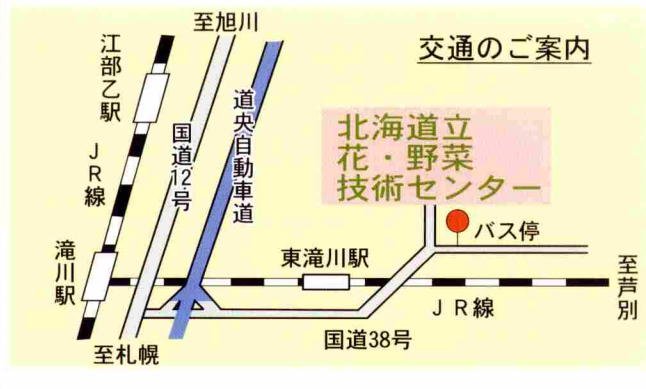
## 花、野菜の栽培新技術フィールドセミナー

- ・宿根かすみそうの多茎栽培法
- ・グリーンアスパラガスの育苗法改善による早期成園化
- ・資材展示(移植機、養液土耕装置、マルチフィルム、灌水チューブ)
- ・病害虫相談と土の診断

(作物、病害虫、土をご持参頂ければ診断します)

花と野菜のクイズ

フラワーアレンジメント教室  
押し花教室



♪♪♪ 編集後記 ♪♪♪

- @道職員になってまだ4ヶ月。なにかもー当然ふらべじの編集もーはじめてですが、なんとかがんばります(R.Y.)。
- @滝川に来て、しばらく眠っていた野生動物とのふれあいが復活しました。存分に楽しんでるうちに「ふらべじ」ができあがっております。I編集長ゴメンなさい。今後グワンバります(ツチノコ)。
- @ふらべじは発行され次第、当センターのホームページにも掲載しております。ここ何号か滞っておりましたので、この号を機会に何とか…(J.F.)。
- @3年ほど編集委員をしていて、やっと編集委員を辞めたつもりが、なぜか編集後記を書く羽目に。不思議なことは世の中にいっぱいあるのだと痛感する今日この頃です(K氏の代理)。
- @編集委員交代で経験者ゼロになりました。アラレさんの助けで何とかスタート。今後はツチノコさんが頼りです(ベジブレカ)。

## 全日本花き種苗審査会(花壇苗)

7月14日と8月8日に当センターで開催され、71点が出品されました。審査会は、各種苗会社が新品種の優劣を競い、よりよい品種の育成をはかるため毎年行われています。花壇苗の審査会は初めてで、ガーデニングブームのなかで注目されています。今年は、トルコギキョウ、スターチス・シヌアータの審査会も開かれました。



## 美味しい! ヤーコンのきんぴら 簡単!

芽室町坂の上ヤーコン生産組合婦人部おすすめの料理法を紹介します。

材料	ヤーコン	400 g
	ニンジン	100 g
調味料		醤油
		サラダ油
		酒またはみりん

### 作り方

- ① ヤーコンは細切りにして水にさらす(アク抜きがおいしく作るポイントです)。
- ② ニンジンも細く千切りにする。
- ③ ①のヤーコンをよく水切りし、②とともにサラダ油で炒め、醤油と酒またはみりんで味をつけ、仕上げに黒ごまをかける(好みで七味唐辛子を使ってもよい)。

## 北海道立 花・野菜技術センター

〒073-0026 北海道滝川市東滝川735番地  
Tel 0125-28-2800 FAX 0125-28-2299

<http://www.agri.pref.hokkaido.jp/hanayasai/center.html>  
E-mail hana\_yasai@agri.pref.hokkaido.jp